

読解

What's ドクターイエロー

ドクターイエローってなに？

「新幹線のお医者さん」や「幸せの黄色い新幹線」と呼ばれることもあるドクターイエロー。2020年3月に引退した700系という新幹線をベースに作られた、お客様は乗ることができない7両編成の黄色い新幹線です。

何をやる新幹線かというと、お客様が乗る新幹線が安全に走るため、線路や架線等の設備の「健康診断」を時速270キロ（1秒間で75メートル進むスピード）で行う検査専用の車両です。

どこを走っているの？

ドクターイエローは、東海道新幹線と山陽新幹線の全区間（東京～博多：約1,100km）を2日間かけて往復しています。

ドクターイエローが行う「健康診断」ってどんなもの？

新幹線は、多い時に上り下りで1日に400本以上走り、1車両40トンの新幹線が走るとそれだけで徐々に線路はゆがみます。

新幹線を安全に走らせるために、ドクターイエローは特殊な台車と多くのセンサーを用いて線路や架線等に異常がないか、線路のゆがみや架線の摩擦状況等を測定しています。また、走行に伴う揺れ・衝撃もデータとして記録しています。

「健康診断」の結果は何に使うの？

「健康診断」の結果、急を要する場合は、すぐにドクターイエローから指令室に連絡がいき、その日の夜間に線路を治します。それ以外は、ドクターイエローのデータをもとに、いつ、どこで、どのような線路整備（治療）をするかを決めて、線路が悪くならないうちに対応しています。

こうして新幹線は、時速285キロで安全に走行することができるのです。

ふりがな付き（重要語彙）

What's ドクターイエロー

ドクターイエローってなに？

「新幹線のお医者さん」や「幸せの黄色い新幹線」と呼ばれることもあるドクターイエロー。2020年3月に引退した700系という新幹線をベースに作られた、お客様は乗ることができない7両編成の黄色い新幹線です。

何をする新幹線かということ、お客様が乗る新幹線が安全に走るため、線路や架線等の設備の「健康診断」を時速270キロ（1秒間で75メートル進むスピード）で行う検査専用の車両です。

どこを走っているの？

ドクターイエローは、東海道新幹線と山陽新幹線の全区間（東京～博多：約1,100km）を2日間かけて往復しています。

ドクターイエローが行う「健康診断」ってどんなもの？

新幹線は、多い時に上り下りで1日に400本以上走り、1車両40トンの新幹線が走るとそれだけで徐々に線路はゆがみます。

新幹線を安全に走らせるために、ドクターイエローは特殊な台車と多くのセンサーを用いて線路や架線等に異常がないか、線路のゆがみや架線の摩擦状況等を測定しています。また、走行に伴う揺れ・衝撃もデータとして記録しています。

「健康診断」の結果は何に使うの？

「健康診断」の結果、急を要する場合は、すぐにドクターイエローから指令室に連絡がいき、その日の夜間に線路を治します。それ以外は、ドクターイエローのデータをもとに、いつ、どこで、どのような線路整備（治療）をするかを決めて、線路が悪くならないうちに対応しています。

こうして新幹線は、時速285キロで安全に走行することができるのです。

重要語彙

- **引退する**：使用をやめる、現役を終える
- **ベースに**：基本として、基礎として
- **7両編成**：7つの車両をつないだ列車
- **架線**：電車に電気を送る線
- **時速**：1時間に進む距離
- **車両**：列車の1つ1つの車
- **東海道新幹線**：東京から大阪までの新幹線
- **山陽新幹線**：大阪から博多までの新幹線
- **～かけて**：その期間を使って
- **往復**：行きと帰り
- **上り下り**：都心に向かう方向と地方に向かう方向
- **徐々に**：少しずつ
- **ゆがむ**：形が歪む、曲がる
- **特殊**：特別な、普通とは違う
- **台車**：車両の下にある車輪の部分
- **用いる**：使う
- **摩擦**：物と物がこすれ合うこと
- **伴う**：一緒に起こる
- **衝撃**：強い揺れや打撃
- **急を要する**：すぐに対応が必要である
- **指令室**：列車の運行を管理する部屋
- **～をもとに**：～を基準にして
- **整備**：点検や手入れをすること
- **～うちに**：～する前に



ドクターイエロー